

# POLISH letter

No.4, 2021



## 現役薬学部女子学生と語る II

～女性薬学研究者育成チームPOLISH座談会～

今回は就職活動を終えた薬学部6年生・薬学研究科博士課程前期2年生の女子学生4名とPOLISHメンバーで座談会を行い、就職活動についてお話を伺いました。



**Eさん**

薬学科6年  
公的機関  
技術系専門職



**Fさん**

薬学科6年  
調剤薬局  
薬剤師



**Gさん**

分子薬科学専攻  
化学メーカー  
研究職



**Hさん**

生命薬科学専攻  
製薬メーカー  
研究職

佐藤 恵  
熊田  
堰本  
佐藤 由

### 一あなたの就職活動の概要を教えてください

**Eさん**：内定先は公的機関Aの技術職です。5月末には最終内定が分かり、その時点で辞退するところは辞退して、最終的にAに決めました。

就活を考え出したのは薬学科5年の5、6月くらい。先輩からのアドバイスもあり、実習中の周りの学生もしていたので、就活サイトに登録しました。就活サイトの就活に向けたセミナーとかを見て、自分の士気を上げておかないと駄目なタイプなので、意識的に早めに動きました。

**Fさん**：私は調剤薬局チェーンBの薬剤師として内定をいただきました。3月中旬には内定。薬剤師はメーカーと違って枠が広い分、選考が厳しくないで、本選考のエントリー段階で3社に絞って、第一志望のところから内定をもらったのでそこで決めました。

最初から絶対薬剤師職！と思っていた訳ではなくて、みんなと同じように6月位に就活サイトに登録して製薬メーカーとか他業種の情報もみました。

**Gさん**：化学系会社Cの研究職に4月末に内定して就活を終えました。内定をもらったのは2社で、エントリーは15社くらい。化学業界の研究職は選考が比較的早く、4・5月に内定が出るところが多いですが、中には3月に内定を得ている人もいました。私は学部4年生の3月に、部活動の先輩からエンカレッジ（注：就職支援NPO法人）に誘われて、イベ

ントみたいな面談をしてもらったのがきっかけでそのあたりから就活を始めました。

コロナで研究室に入れなかった修士1年の4・5月の時期に少し時間があつたので、そのタイミングで色んな会社のHP見たり、インターンの応募とかも少しづつあつたので出してみたりして、そんな感じでゆるく始めました。



**Hさん**：内定先は大手製薬会社Dの研究職です。製薬業界は5月6月に内定出るところが多い中で、自分は内定でたのが4月末。Dの志望順位が高かったもので、そこ1社だけで、選考通ってたところは全部辞退して、内定は1社だけです。夏・冬インターンにちょっと出したくらいでぼちぼち就活を始めて、2月位にこの企業には出そうというリストだけは作った。本気で始めたのは3月初め。何社も情報収集してってのは3月くらいから。情報収集を3月から始めて4月に内々定はラッキー組にのれたのかなーと思ってます。



一就活を1年前から意識する人、1・2か月の人、様々な活動期間なんですね。早くから始めた人はどうやってモチベーション維持していたのですか？

**Eさん**：それがやっぱり、もたなかった。。。

（5年の）6月から「夏頃にやらない」とって頑張ったけど、11月くらいにはやる気が落ちてしまって、それがインターンでいい結果に繋がらなかった原因かと。持久力に自信があるなら早めに始めるのはいいけど、それも含め考えて動き出さないと、こういうパターンもあるので、そこが反省点。

**Hさん**：長距離走みたいになんと就活し続けるのがしんどいなと思って。中間位がいいのかなって思います。

**熊田**：私が就活していた頃は、インターンって会社紹介みたいな感じがあって、会社を知るために行くって感じで、行ったからって有利になるってあんまりなかったと思う。

**堰本**：インターンって就職内定に直結するのですか？



**Gさん**：会社によります。インターンに通ってないと本選考のルートに乗れないってところもあるし、一方でインターンに落ちたところから内定をもらったり、インターンの優遇があるところも、ないところもある。研究職や技術職はそんなにインターンを重視していない会社が今年はまだ多かった。

今後その流れは変わると言われていて、インターンにいった人が有利になる流れができるのかなーと思ってます。

**Hさん**：早期選考の案内がインターンに行かないともらえないことがある。本選考には（インターン行ってなくても）乗れるけど、早め早めに内定もらっておいた方がいいから、それでインターン受けるのが重要。私は、インターンに出しはしたけど受からなかったからその会社は受けませんでした。

**堰本**：私たちの時代と違いすぎて、大人（教員）が知らないことばかりですね…（反省）。

### 一就活に当たって相談できる相手はいましたか？

**Gさん**：私は先ほども出てきたエンカレッジの先輩にお世話になりました。メンターっていう1年先に就活をした先輩が1対1で付いてくれて、就活に関する相談や企業説明会などのイベントの紹介が利用できます。メンターが元々親しかった先輩だったこともあり、普段のノリで気軽に連絡を取り合っ、たくさん助けてもらいました。

**佐藤**：他のみんなも利用した？

**Hさん**：聞いたことはあるけど、使ったことはないです。



**Eさん**：登録だけはしたけど・・・。

**Hさん**：私は研究室の先輩ですね。研究職だと、ES（注：エントリーシート）に加えて研究内容を紹介する必要があるので研究室の先輩に見てもらい、学生時代に頑張ったことなど一般的なエントリーシートについては、川内のキャリア支援センターで添削を2回くらいしてもらいました。卒業した先輩にも研究概要を見てもらっている人もいました。そういう意味でもつながりは保っておいた方がいい。今は学生寮に住んでいて、1つ下の学年のエントリーシートを見ている。知らない人に見てもらってどう映るかを知ること大事だと思う。

**Eさん**：私の場合、ESを客観的に見てもらうことが大事だと分かっているけど、直してもらって根本の自分とのギャップに入社後苦労するんじゃないかと思って、他の人から手を加えられない本当の自分で勝負した方がいいと思ったので、ESは人に見てもらわなかった。

就活中はメンタル的に不調（落ち込み）になることが多いので、先輩方にはメンタルケアをしてもらった。また先輩方に企業がどのようなところなのか、また面接の乗り越え方とか技術的なことや経験談について聞いていました。

### 一横のつながりはどうでしたか？

**Hさん**：早く就活始めた人が情報提供者になって、仲良いグループで「教えて教えて」って気軽に話してました。同じ薬学部だけど、みんな行きたい業界が違ったので相談しやすさはあったと思う。ライバルというよりはみんなでも乗り越えようみたいな感じ。

先輩の情報より同期の情報の方が「今」の情報だから、今年ならではの動きがわかる。

### 一研究室活動や実習などで、就職に向けて意識して取り組んだことありますか？

**Gさん**：東北大学の女子大学院生で結成された「サイエンス・エンジェル」という団体で、小中高生に科学や研究の魅力を伝える活動を行っていました。就活では話のネタになったので、やっていて良かったと思いました。あとは、先輩に「研究室でちゃんとできてたら、就職しても大丈夫だ」と聞いていたので、研究室での実験やゼミを頑張り

ました。

**Hさん**：特に意識していなかったが、就活で短時間のプレゼンが必要だったので、研究室での発表が役立つと思った。研究室が活発に質問をする風潮があり、他の人の発表に対して質問をする、ということがとても役に立ちました。普通に研究室活動を全力で頑張っていたら、いつの間にか就活も乗り越える力ができてくる気がする。

質問するならどういうことを質問すべきかを聞いていたので、役立つ時がくる。他の人が質問しているのを聞いて、確かにこういう考え方もあるなとか。

グループディスカッションの際に、質問の考え方、仕方が分かってきた。研究室で発表に質問することで、他の人の考え方を学ぶことができたと思う。

**Eさん**：特に意識はしていなくて。「就職するまでにやっておいた方がいいことありますか」って内定先に聞いても、「研究を頑張ってください。」と言われた。就職先では薬理、薬物動態の知識が必要になるかもしれないので、国試の勉強もしているが、薬学基礎知識も学んでいる。

**Fさん**：薬学科の学生は、実習が薬剤師の話聞く貴重な機会になるので、薬剤師に積極的に聞いた。薬剤師の中には様々な経歴の方がいるので色々な話を聞いた。実習はちゃんとやった上で、空いている時間に話を聞くと、自分の将来を考えるうえで面白い話が聞けて、選択に役立ちました。

次号も引き続き、座談会の様子をお伝えします。  
お楽しみに！！

### 女子学生の皆さん、自分の将来について考えてみませんか？

薬学研究科 女性薬学研究者育成チーム POLISH主催

### 第1回 薬学部OGによるオンライン講演会

2021年10月28日(木) 12:15-12:45

学内限定。URLもしくはQRコードよりお申し込みください。



2021年10月26日(火) 17:00申込締切

<https://forms.gle/MrtptFPxDL1zid5X8>

POLISHの活動について、皆さんからのご意見・ご要望・ご感想などをぜひお寄せください

発行・編集：東北大学大学院薬学研究科  
女性薬学研究者育成チーム POLISH

polish@mail.pharm.tohoku.ac.jp（事務局 佐藤由紀）